

# 合併記念式典 を挙



10月22日、市民文化会館において、本庄市合併記念式典・名誉市民推戴式・市政功労者表彰式」が挙行されました。式典には上田県知事をはじめ、招待者約400人が出席、市章の発表が行われるなど、盛大に「新本庄市」の合併を祝いました。

式典で吉田市長は、「地域資源を最大限に活かし、市民の皆様とともに、『行ってみたくなる、住んでみたくなる、働いてみたくなる』魅力と活力ある北関東の拠点都市を目指してまちづくりに取り組みたい。」と力強く式辞を述べました。

その後、野田市議会議長の挨拶に続き、総務大臣から旧本庄市・児玉町の市長・町長に対して合併功労者表彰状が贈られたほか、元本庄市・児玉町合併協議会委員に対して吉田市長から感謝状が贈られました。また、市章応募者最優秀表彰が、田中博士さんに贈られました。

また、市政功労者表彰式では、市民の生活および文化の向上ならびに社会福祉の増進

など、市政発展のために尽力された功労者に表彰状が贈られました。

## 合併功労者総務大臣表彰者

茂木 稔（旧本庄市長）  
木村 登志男（旧児玉町長）  
吉田 信解（本庄市長）

（敬称略）

## 合併功労者市長感謝状贈呈者

「元本庄市・児玉町合併協議会委員」

茂木 稔 木村 登志男  
内野 隆次 中林 重  
内島 茂 堀口 勝司  
明堂 純子 間正 始  
高橋 和美 武政 正雄  
木村 廣二 宮部 一三  
今井 高喜 平野 陽  
八木 義一 清水 達夫  
杉原 範之 水澤 政雄  
片貝 彌生 神部 國雄  
山本 三郎 笠原 キクイ  
浅賀 康夫

（敬称略）

## 市章応募者最優秀表彰者

田中 博士（愛知県）

（敬称略）



表彰される  
田中博士さん

## 名誉市民に推戴



茂木 稔 氏

茂木稔氏は、昭和49年7月に本庄市議会議員に当選し、以後約14年11か月にわたり本庄市議会議員、また、平成元

年7月から平成17年7月までの通算16年の長きにわたり本庄市長の要職にあつて、豊富な経験と卓越した識見をもつてその職を全うし、本庄市政の進展に尽力されました。  
主な経歴 本庄市議会議員（昭和49年7月～平成元年6月）・本庄市長（平成元年7月～17年7月）  
受賞歴 旭日中綬章（平成18年4月）

## 平成18年度市政功労表彰者

自治功労  
飯島 祐三（児玉町長沖）  
保健功労  
飯島 利夫（小島6）  
洪澤 利夫（小島6）  
飯島 祐三（児玉町長沖）  
加納 顯一（児玉町蛭川）  
澁谷 修身（銀座3）  
清水 由紀夫（前原1）  
益子 道男（児玉町児玉）  
牛久保 佳郎（銀座3）  
倉林 典之（児玉町児玉）  
坂口 誠（北堀）  
竹内 靖（見福2）  
藤林 廣美（児玉町八幡山）  
飯田 成人（けや木1）  
中原 秀幸（中央1）  
環境衛生功労  
新井田 博輔（けや木1）  
小澤 秀彦（千代田2）  
北野 正勝（千代田1）  
背山 真起雄（児玉町児玉）  
高橋 博（児玉町児玉）  
武政 銀藏（児玉町児玉）  
交通安全功労  
井田 立明（児玉町高関）  
消防防災功労  
飯野 哲生（西富田）  
石森 松男（児玉町稲沢）  
笠原 清（児玉町稲沢）  
小池 和久（児玉町太駄）  
小林 毅（児玉町田端）  
白石 淳一（上里町）  
町田 明男（駒南2）  
峯 昌彦（児玉町稲沢）  
社会福祉功労  
金井 喜久次（宮戸）  
川瀬 光俊（本庄3）  
小暮 康子（北堀）  
小林 清一郎（千代田1）  
小林 八重子（児玉町吉田林）  
小峯 きみ子（児玉町飯倉）  
坂上 信子（朝日町）  
設楽 郁枝（本庄3）

# 「市章」決定!

本庄市の「市章」が、愛知県在住の田中博士さんの作品に決定しました。今後、市章として市の旗、市発行の印刷物など、広く活用していく予定です。

市章の選定にあたって、市章選定委員会設置条例を規定し、有識者と公募の市民からなる委員会を組織しました。

6月1日から7月14日にかけて行ったデザイン公募は全国から469点の作品の応募がありました。

これらの作品を市章選考委員会において、7作品に絞り込み、他自治体等との類似調査を行いました。その結果を受けて、9月1日から15日に5作品について市民アンケートを実施しました。

市民871人のアンケートの結果を参考に、委員会で慎重な審議を行った結果、市章デザインが選定され、10月22日の合併記念式典において公表されました。

本庄市が、今後都市としてバランスよく発展し、ここに暮らす人々が真に幸せを感じられるまちとなっていくことを願い、作品番号 103 を市章デザインとして選定しました。市民アンケートの結果と選定理由は次のとおりです。

作品番号	作品番号	作品番号	作品番号	作品番号
236票 (27.1%)	82票 (9.4%)	81票 (9.3%)	369票 (42.4%)	103票 (11.8%)

本庄市の「本」をモチーフに、非対称をバランスよく組み合わせた美しいデザインである。また、色彩的にもさわやかな青と緑で自然に恵まれた環境を表し、赤で都市としての活力を表している。湧きいづる水に力強く立ち上がる人物をイメージし、若々しさやあふれる生命力が感じられ、発展する本庄市の姿を象徴するようである。市章にふさわしい美しさ、明るさ、品格を兼ね備えていると評価できる。

本庄市の都市イメージとして、活気と調和、利便性とやすらぎという二面性を提示している点も、市章としてふさわしいと考えられる。本庄市市章選定委員会

(順不同・敬称略)  
佐々木 正峰(国立科学博物館館館長)  
長谷川 典明(郷土史家)  
柴崎 起三雄(郷土史家)  
織茂 初枝(書道家、県北美術展実行委員長)  
清水 ハルマン(画家、フランス芸術家協会永久会員)  
石川 武士(漆造形作家)  
竹内 祥泰(本庄第一高等学校 校教諭、美術部顧問)  
丸山 隆仁(公募)

- 芝崎 茂(本庄4)
- 清水 正一(中央2)
- 高橋 治子(児玉町蛭川)
- 田島 エセ子(児玉町児玉)
- 戸塚 祐代(南2)
- 中嶋 三郎(栄2)
- 中村 和代(若泉1)
- 松岡 茂子(中央1)
- 久保田 盛二(小島南3)
- 萩原 史夫(中央2)
- 日向 理(見福2)
- 吉田 紘子(栗崎)
- 産業功労
- 宮部 一三(児玉町児玉)
- 八木 義一(久々宇)
- 清水 寛(児玉町長沖)
- 体育功労
- 秋和 千秋(日の出4)
- 上原 泰二(若泉2)
- 栗田 岳彦(山王堂)
- 篠塚 洋子(小島5)
- 清水 利晴(東台2)
- 杉山 幸一(児玉町塩谷)
- 茂木 希枝子(朝日町)
- 吉野 忠(児玉町秋山)
- 若林 孝子(北堀)
- 小暮 直樹(本庄3)
- 富沢 峰雄(中央1)
- 荻野 以久子(日の出4)
- 細井 辰三(東台4)
- 故茂木 仁(緑3)
- 教育文化功労
- 故河野 豊民(群馬県高崎市)
- 特別功労
- 新井 孝志(牧西)
- (表彰名簿順・敬称略)

## 平成18年市議会第3回定例会

広報ほんじょう10月号でお知らせしたとおり、9月4日から22日まで19日間の日程で、平成18年市議会第3回定例会が開催されました。前号でお知らせすることができなかった議決結果等についてお知らせします。

定例会最終日の9月22日は、初日に市長が提出した、「本庄市国民健康保険条例の一部を改正する条例」、「市道路線の廃止について」、「市道路線

の認定について」など8議案、『平成18年度本庄市一般会計補正予算(第2号)』など補正予算5議案が慎重に審議され、13議案すべて原案のとおり可決されました。

また同日、議員から「義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書」、「出資法及び貸金業規制法の改正に関する意見書」など6議案が提出され、うち5議案を可決し、閉会しました。